

日米の新型コロナウイルス感染症対策について

スタンフォード大学医学部と神奈川県は、2016年に連携協力の覚書を締結し、これまでライフサイエンス分野などで科学技術の発展促進や、その実用化・産業化に向けて、協調した取組を進めてきました。

世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、この問題に取り組む国内外の有識者の先進的な活動や、新たな技術を活用した今後のコロナ対策について議論するシンポジウムを開催します。ぜひご視聴ください。

詳細は県ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/stanford.html>

日本からのおもな登壇予定者



理化学研究所 プログラムディレクター
林崎良英 (医学博士)



神奈川県知事
黒岩祐治

参加
無料

オンライン
要事前登録

日時

- 2020年11月5日（木）～6日（金）各日10時～14時30分（日本時間）

開催概要

- 言語 英語（日本語通訳あり）
- 対象 大学や企業の研究者等
- 開催形式 Zoom（お申し込み後、開催数日前にリンクをご案内します）

申込方法

- 下記問合せ先に、①参加者氏名（ローマ字表記）、②メールアドレス、③お住まいの国、④ご所属（英語名）を記載のうえ、ご連絡ください。
※各プログラムごとではなく、2日間まとめてのお申込みとなります。
- 申込期限 2020年10月29日（木）
- 定員 200名（先着順）



県HPへ

主催

- 主催 米国スタンフォード大学医学部
(Stanford Laboratory for Drug, Device, Development & Regulatory Science)
- 共催 神奈川県

【問合せ先】

みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部（担当：片岡、斎堂）

E-mail : hcnf-seminar@mizuho-ir.co.jp

TEL : 03-5281-5277（平日9:30～17:00） ※メールでのお問合せに御協力をお願いします。

本事業は、みずほ情報総研株式会社が神奈川県から受託して実施します。

プログラム概要

【第1日】 2020年11月5日（木） 10時～12時、12時15分～14時30分

第一線の研究者や有識者にご登壇いただき、新型コロナウイルス感染症に関する基礎科学について、最新情報を提供するとともに、アメリカ、日本、台湾などの各国の対応について議論します。神奈川県からは黒岩知事がダイヤモンド・プリンセス号以来の取組についてお話しします。

■ 10:00～12:00 セッション1: Scientific Advances for COVID-19 (新型コロナウイルス感染症に対する科学の進展)

■ 12:15～14:30 セッション2: Response to COVID-19 (新型コロナウイルス感染症への対応)

【第2日】 2020年11月6日（金） 10時～12時、12時30分～14時30分

各国での臨床の課題について議論を行うとともに、新型コロナウイルスに対する新たな技術を活用した今後のアプローチについて、アメリカ、日本の第一線の研究者が議論します。

■ 10:00～12:00 セッション3: Clinical Issues in COVID-19 (新型コロナウイルス感染症における臨床的課題)

■ 12:30～14:30 セッション4: Innovation and Future Preparation (イノベーションと未来に向けた対策)

おもな登壇予定者

ロイド・マイナー
ロナルド・パール
トーマス・モンタイン
スティーブン・シェイファー
ピーター・カオ
西村 俊彦
陳 宜君
方 啟泰

スタンフォード大学医学部長
スタンフォード大学医学部教授
スタンフォード大学医学部教授
スタンフォード大学医学部教授
スタンフォード大学医学部准教授
スタンフォード大学SLDDDRSディレクター
台湾疾病管制署部長
台湾大学公衆衛生学院教授



ロナルド・パール
スタンフォード大学医学部教授

濱口 道成 (国研) 科学技術振興機構理事長
岩本 愛吉 (国研) 日本医療研究開発機構戦略推進部長
林崎 良英 (国研) 理化学研究所プログラムディレクター
森下 竜一 大阪大学大学院医学研究科教授
西浦 博 京都大学大学院医学研究科教授
押谷 仁 東北大学大学院医学研究科教授
鈴木 康裕 前厚生労働省医務技監
黒岩 祐治 神奈川県知事
阿南 英明 神奈川県医療危機対策統括官 (藤沢市民病院副院長)

(調整中)

プログラム内容や登壇予定者は変更の可能性があります。